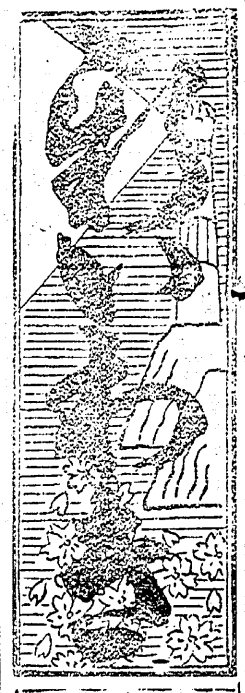
（第三種郵便物認可）（昭和五年三月廿一日）

二月十九日 夕刊

【日刊】 昭和九年二月二十日 新いわき 【火曜日】 第一千百十號 （一）



休日日曜 祭日 二十五錢
郵税十五錢 一部二錢
一ヶ月 四十錢 拾銭増
場所指定
發行兼編輯印刷人 牛谷政濟
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

一週一言

平町が國道補裝を計畫し長橋から五丁目に至る延長二千四百メートルに對する同工費の大体豫算四萬圓の中、縣が四分の三を支出する殘る一萬圓を町に於て五千圓、受益關係者に於て五千圓を負擔させやう見込みの下に新豫算に計上されることは本紙既報の如くである

× ×

右に對して町は沿線關係區の區長會に諮り區は區内關係者間に協議を進めてゐるが受益者の負擔に關し該工區を二分する紺屋町以南と本町通りとでは賃貸價格等にも著しい相違があり從つて負擔の上にも差異あるべきだと云ふ意見が出て居るらしい、乍然これによつて同工事計畫の難礁とはなるまい

× ×

それは該工事の設計から見ても元警察署跡以南長橋に至るものは延長千五百十二メートル巾員八米で工費一萬五千圓、本町一丁目から五丁目に及ぶものは延長八百八十八メートル巾八米五〇で工費二萬五千圓、これを一平方メートルに當つれば紺屋町方面は一圓廿四錢、本町通りは三圓三十一錢になる

× ×

工費の比差が斯うなるから其の割合の負擔率によれと云ふ事も交通感を無視する言ひ分だが同一に負擔させ様とすることも南工區の關係者に對して親切な扱ひ方でなく又當を得たものではない、此の間の取捨按配を適當にし小異をすて〻大同につく妥協を困難とは思へぬ

× ×

同工事について受益者負擔關係間に尚ほ一つの躊躇は家主對借間の問題で、家主側の云ふ側溝工事負擔に重ねての支出は容易でない、今回の負擔は受益そのものから見て借家が出すべきだと語ることに一面の理窟はあらう、然し借家は永久に借家で自分のものではない、此の間の問題は相互に於て妥協すべし

× ×

受益者側に、も一つの苦情として聞くものは現下の不景氣に過大な支出は困ると云ふのであるが五千圓の負擔で四万圓の工事を施行される、其の金の大部分は何所へ行くであらうか縣も町も不況時であればこその工事でもあり、町費から出る五千圓には補裝路關係外のものにも負擔されてゐることを考へて貰はなくてはならぬ

× ×

旅に宿をとつた場合にしても泊料に大食と小食の差別はない、汽車であれ自動車であれ体の大小に賃錢は異ならない、吾れ等には之れに不平を持たぬ雅量がある、悉く共れをいなむならば共同生活が出來ないことになるであらう補裝道路工事の如きも其所に考慮を置いて欲しいものである

明廿日に開かれる 平町新豫算の内示

繰越事業費を加算しなければ 前當初豫算より減少せん

平町では既報の如く明二十日午後一時から町會議事堂に昭和九年度豫算の内示會を開かれるが新豫算に就ては屢々報導せる如く歳出の自然膨張に對して從來のまゝでは歳入に行詰まりを生じ理事者にかける苦しい編成は經常臨時を合せて前年の當初豫算三十三萬八千圓に比較し昨年は第三小學校を竣築された其分の緩みで若干の減少を見るものゝ如きも第四小學校その他の事業繰越を計上せば三十五万圓を超える豫算面となる筈であつて小學校の二學級增加並に商業校費の增額による約四千圓の教育費增は會て報導せる通り免かれざるもしく此の補塡を月謝增額にまつ增收は生徒の數から推して商業校で二千六七百圓、小學校千四、五百圓を見られるであらう無難なバランスに漕ぎつけたとして整備費及び地方改良費並に水道事業費等に各四、五百圓づゝ增加を想像されその他餘儀ない增額を合算する埋め合せに町債償還二千五百圓の減額が大助かりであることを窺はれてゐる

内地人の滿州進出

平局に爲替拂激增

活躍振りが窺はれ氣持がよい 郵便貯金も殖えて來た

舊年末から正月にかけて平局に於ける爲替貯金の動きは前年よりは若干の活氣を見せてゐる去る十三日(暮の最後)から十七日(正月四日)に至る日毎の數字を上げると

十三日爲替受六二件二〇四三圓 拂一〇三件三七七五圓 貯金預入二九一件五五〇七圓 拂一七三件六八三八圓

十四日(元日)爲替受三九件八〇〇圓 拂五七件三八二四圓 貯金預入七二件六五九〇圓 拂六九件三三四五圓

十五日爲替受七六件一〇五〇圓 拂六九件二二二四圓 貯金預入一一七件一二〇三二圓 拂一一三件六一九八圓

十六日爲替受四九件八二四圓 拂四九件三〇四二圓 貯金預入一七〇件二八〇四圓 拂八〇件三五一八圓

十七日爲替受三三件二〇七四圓 拂二三四六圓 貯金預入九三件七六二八圓 拂五一件二〇九〇圓

で爲替は年末から日を追ふて受より拂が激增し貯金は舊年末三十日と十六日(三日)に拂渡が稍多かつたのみで元日に於ける積み初め其の他目立つた增加を示してゐる殊に本年地方へ送り込まれる金で内地人の進出を物語られるものは普通料金で來る滿州新京からの爲替が非常に增加されたことで其活躍やが窺はれると

熱血迸る 憂國の獅子吼

來る二十一日晝夜二回の講演 平町在郷軍人分會主催

平町在郷軍人分會主催で同町國防研究會後援の軍人講演會は白石玄海氏を迎ひて來る二十一日正午より聚樂館に於て午後は六時から同町第三小學校に催されるが演題は左記の如く非常時を控いて國民に訴ふる祖國を護れの雄叫び熱血迸る憂國の獅子吼は軍事評論の權威として知られる同氏の辯舌に展開される筈で多數の來聽を歡迎すると(會費十錢)

怪僧井上日昭 五、一五事件とロンドン條約 蘇聯の極東戰略 第二次世界戰爭

小名小學校 落成式

來る二十四日に

石城郡小名濱小學校の增改築は既報の如く此の程落成を告げ竣工式の準備中であつたが愈よ來る二十四日午前十時同校庭に盛大なる右の式を擧行される改築された同校は敷地五千八百四十坪に工費六万一千圓を投じた舊校舍好利用の設計に武道場まで備へた縣下稀なる校舍で四十八教室を有し正面玄關の二階には貴賓の來町等を迎ふるに足る應接室を設けたる等威容堂々たるもので式の當日には工事功勞その他の表彰もあると

郵便局は九年度より 親掛りから一人立

特別會計になるのはよいが 一般會計へ八千萬圓

平郵便局では來る九年度から通信事業が特別會計になるので戸石局長より局員一同に對し一層の精勵を促がされてゐるが一般會計から離れても勿論事務上に變更あるものでなく云はゞ從來の親掛りから獨り立ちになると同一意味のもので自分等の稼ぎを以て自分等の賄ひをすると云ふのであるが政府に納めねばならぬ九年度の額は八千万圓未滿になるものゝ如く同納額の算點は昭和八年度の通信事業收支差額七千七百萬圓を見込み九年度以降は議會承認濟みの電話擴張その他の實行で漸次收益を增加し十一年度以降は約八千百萬圓を豫想される爲め端數を切すて〻十年度より八千万圓以上と云はれる納入に假りに苦しいことがあつたにしても自ら證顯の計畫をなし得て公衆の便宜を圖ることも出來やうし從業員一司が奮勵すれば自然勝手元も樂になり從つて各自の對遇もよくなるであらうと語つてゐる

常識講座

ランニングは駈け競べ徒歩競爭ランニングレースの略だがランニングコストは船の航費のことと又爲替市場などにおて小刻みな利を拾ふブローカをランニングブローカと呼んでゐる

刑事の様な鋭い氣轉

犯人檢擧の援助で表彰四名

石城郡内郷村の御厩字上宿木田正夫、同木田英夫、同高木繁夫三名は本月一日平署に檢擧された銅線泥同村宮の古物商伊藤勇次(三一)外數名に係る犯罪に逮捕の端緒を與へ同じく内郷村御台境の草野末吉は右犯人が賍品を隱匿した個所を發見し同所に立寄つたもの〻自轉車の後部番號を記憶してゐた檢擧の援助により十四日付で縣刑事協會長渡警察部長から金一封を添えて表彰狀を授與された

江名郷軍の總會

石城郡江名町の在郷軍人分會では去る十四日午前十時から同町江名江樂館に於て總會を開き白石玄海氏の軍事講演があつたと

青年三分團總會

石城郡江名町青年團の總會は去る十四日午前十時から字北町、南町、辻町三分團三ヶ所に夫々總會を開き八年度の事業報告後役員の改選を行つた

漁船八十五双出初式

石城郡江名町は本縣沿岸に於ける有數な漁業地で發動氣船八十九双を現在するが去る舊二日舳艫相連ねて出初式を擧行した見事さは近在からも多數の見物であつたと

モシ〳〵壤の新年宴會

平郵便局では去る一月十日頃に催す豫定であつた交換嬢の新年會が公務の都合上延期されてゐたが昨十八日午前十時から局舍二階の宿直室に同會を催された交換手五十名の外の列席は戸石局長以下主事連で局長の訓示の後茶菓にサイダーの宴に移り此の日だけは無禮講と云ふのでモシモシ姫達の余興に隱藝の野球ダンズや東京音頭その他電話の應接に修練する咽喉の鮮やかさ各五分間を限度とする獨唱は一方に交換事務を控いてゐるので交々午後三時頃まで續いたがなか〳〵の盛會であつた

石城獵友卷狩

平署管下の石城獵友會では來る二十五日總會を兼ねて筑輪澤渡方面の好獵地に會員三十名の卷狩を行ひ獲物を者に高野鐵泉方で懇親の新年宴會を催し解散すると

公定米價に就て（九）

以上公定米價により買入れ賣渡しを行ひまする外に、政府は米穀統制法によつて季節的出廻り數量の調節と致しまして、毎年十一月頃から翌年二月頃までの間に於て、一定數量を限度として、米の買入れを行ひ、此の期間に於て農家が一時に米を賣り出すことのために米の相場が下落することを防ぐことも致すのであります、十二月十四日に全國の米穀事務所で米の入札買入れを行ひましたのは此の季節調節の買入れでありますし十二月二十日に發表致しました朝鮮の玄米五十萬石及び粳十万石の買入れは朝鮮に於ける季節調節買入れの一割であります、

尚ほ本年は最初述べました情況に鑑みまして、政府より奬勵金を支出致しまして內地に於きましては、粳約六百万石を來年のまで農家が自治的に貯藏することを奬勵し多量の米が市場に出廻ることを制限し米の需要と供給との均衡を得させることを實行いたして居ります、

斯樣な方法によりまして米の値段を適當なところに維持いたしますることは、農家のためばかりでないことは勿論之れによつて農村の購買力が增加されますれば、勢ひ他の種々な產業も活氣を呈することになりまして、從つて一般の景氣もよくなることになるのでありますから、私共は國民一般が政府のこの施設に應じて努力せられんことを望むものであります（終り）

紺屋町
需應院入
平町
藤沼醫院
電話五〇七番

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社
印刷部

防寒メリヤス
●專賣特許毛メリヤス。
防虫加工純毛メリヤス……三圓。三圓五十錢
防縮加工純毛メリヤス……二圓五十錢。三圓
防虫加工…夏季ノ保存ニナフタリン彩脈イラヌ絕對虫ノ喰ハヌ特許品
防縮加工…御無理ナオ洗濯ニモ絕對チヾマラヌ特許純毛メリヤス製品
●御婦人向、オ子サン向實用防寒メリヤス毛製品。
ツルヤ
平四　電一四〇

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關內正一　電話一六番
平町二丁目
事務取扱者　阿部助次郎

福島縣平町十五丁目廿六
常磐モーリス商工助成株式會社
電話四六番
振替東京六二九五一番
株主の幸福
一、年四分の報賞金を差上げます（他に利益配當）
一、一世帶貳千圓迄御貸付致します（株券の倍額）
一、御株券不用の場合は證券會社でお引受致し升
一、御貸付もお返濟も株主本意に御取扱致します
一、法律經濟の御相談は無料でお引受け致します
◇本店同樣營業を開始いたしました
◇御利用下さい
內郷出張所
內郷綴三
平潟出張所
平潟本町

耳鼻咽科喉專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

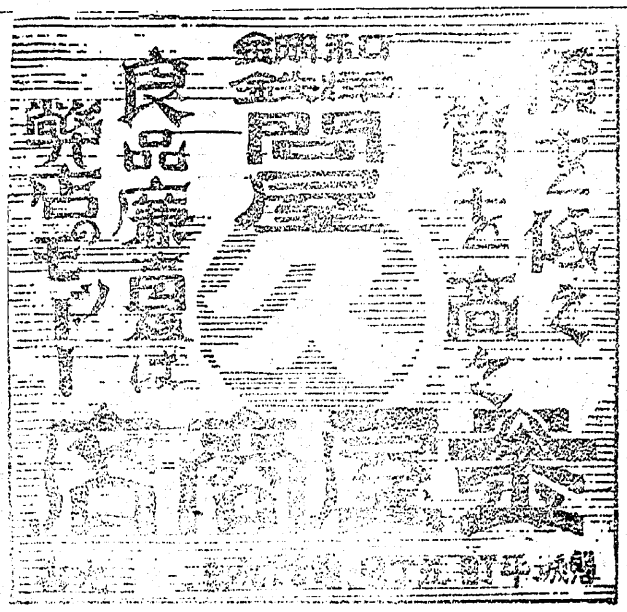
洋式宴會の仕出し
五人樣以上の御注文にはボーイもコックも出張しまして弊店へ御來店御會食と何等變りなくサービス致します
出前は迅速に
平常の一品料理の出前は遠近に拘はらず迅速に御届け致します、ドーゾ御贔負を……
美味で…評判の…　イワキ　サロン
平田町　電話三五二番

安價で効果的な
天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類
◇茄果類ではトマト　茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◇如何に施用しても土壤を惡變する慮は絕對にありません
一俵　參拾錢
（大量取引は特に割引致します）
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番
〝貨物自動車〟の御用命に應じます

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

產婦人科院　長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

東神火災保險株式會社
東京動產火災保險株式會社
横濱生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所　福島縣平町白銀町一　電話三二九番　二九五番
本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目